

【新連載】 ※月1連載

船釣りの作法

釣技
釣技
釣技
釣技



▲道具と釣り方は日々進化しているが、基本は変わらないと鈴木さんは言う

▲直結仕掛けでも目でシグナルをとらえて掛けていく釣りが主流

船釣りの名手はどのようにして釣っているのか？ その核心は、案外、華やかなテクニクや釣果に隠れてしまうことがある。仕掛け、道具、そして食。初めての人にも上級者にも、等しく楽しみを与えてくれる「船釣りの作法」を紹介していこう。

其の一 外房大原港出船のスルメイカ

イカ釣りで

「おろそか」にしては

いけないこと。

鈴木新太郎

◀NEWフォースマスター1000はコンパクトながらヤリイカ、ワラサ、マダイ、アカムツ、オニカサゴなど、幅広いターゲットに対応するパワーと高耐久性を持つ

「どんな釣りにも言えるのですが、イカ釣りで一番大切なこと、それは、基本をおろそかにしないことです」

外房を中心に活躍する鈴木新太郎さんにとってイカ釣りは、南房から常磐が活気づく冬・春、そして初夏にかけてのヤリイカ、スルメイカが中心。

「ヤリイカとスルメ、どちらがメインになるとしても、サバが元気に回遊していることが珍しくありませんから、いつでも、ブランコ仕掛けと直結仕掛けを用意しておく必要があります」

大原港・春日丸の中井徹船長によれば、前日はサバが多かったとのこと。

鈴木さんは明け方に活性が高まるサバに仕掛けが捕まらないよう、14センチツノの直結仕掛けを接続した。

「直結、と聞くと、難しいと思う人も多いと思いますが、基本さえ押さえておけば、すぐに扱えます」

その基本とは、ツノを一本、一本、確実に扱うこと。

「ひとつひとつの作業を確実に。イカ釣りの基本はこれにかぎると思います」

鈴木さんはあえて「作業」と言う。仕掛けさばきが自然に行える作業になれば、イカが乗ったときにも、オマツリしたときにも、冷静に対処できる。つまり「手返し」が確実に早まり、ツノ数を増やしていくこともできるのだ。

時間がたってもサバが居座るこの日、鈴木さんは直結仕掛けで釣り続けた。

◇

時間

時間

時間

時間

時間

◎鈴木新太郎 千葉県出身の船釣りのエキスパート。得意とするフィールドは千葉県外房から茨城県鹿島灘・常磐まで至る。シマノフィールドテスター



タックルの作法

目で見て合わせて巻き上げる
直結仕掛けではなおさら
流れるように操作できる道具が理想です。

【NEW フォースマスター 1000】

◎従来のフォースマスター 1000がさらにコンパクト化、ワンハンドで軽快に操作でき、3000クラスのパワーと高耐久性を実現。微調整が自由自在のNEW タッチドライブ、手返しを早め、サミングしやすいスピードクラッチを搭載。MUTEKI MOTOR+ は圧倒的な巻上力と瞬発力を発揮、ピーストマスター 1000EJ 同様の強化ギアシステムの採用により高耐久性を追求している。その進化は手にした瞬間、動かしただけで体感できる。
●ギア比5.3、最大ドラッグ力15kg、自重680g、糸巻き量PE2号600m、3号400m、4号300m、最大巻上長70cm / ハンドル1回転、シマノ巻上力62kg、実用巻上持久力8.5kg、最大巻上速度210m / 分、2021年5月発売予定。



▲不意な急速巻き上げを防ぐ中高速設定は任意で変更可能。直結仕掛けのイカ釣りは15に設定して使用した



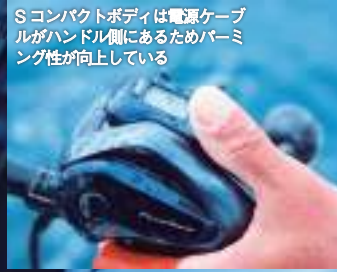
◀探見丸親機搭載船ではNEW 海底・魚群水深表示で状況を知ることができる ※魚群水深表示はアキフィッシュ対応の親機搭載船のみ使用可能



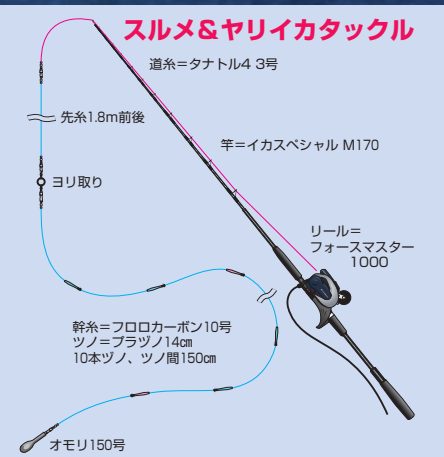
合わせながらハンドルを巻いて乗りを確認しつつ、NEW タッチドライブで電動巻き上げに移る



▲スピードクラッチは絶妙な操作感。サミングも行いやすい



Sコンパクトボディは電源ケーブルがハンドル側にあるためパーミング性が向上している

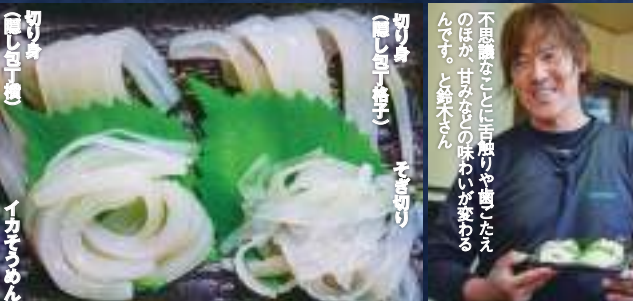
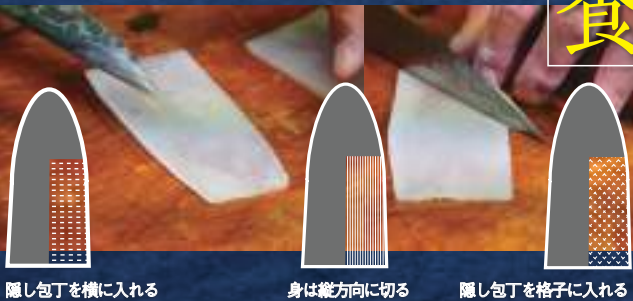


「鮫釣りの作法」動画公開中。
SHIMANO TV または YouTube SHIMANO TV 公式チャンネルにてご視聴いただけます。



食の作法

隠し包丁と切り方で
味わいが変わります



不思議なことに舌触りや歯ごたえのほか、甘みなどの味わいも変わります。と鈴木さん



▲海面をのぞき込むと動作が小さくなり絡みがちになる



▲ヨリトリリングや中オモリを船内にぶら下げて仕掛けを安定させる



▲もう一方の手で幹糸をつかんで持ち上げ、ツノを投入器に入れる



▲ツノを持った手を大きく上げる



▲これでスムーズに取り込めない



▲竿は左、投入器は右と覚えておく

ひとつひとつの作業を確実に。
イカ釣りの基本はこれにかぎると思います。



▶外房のイカ釣りはオモリ150号。ブランコ仕掛けのほか、サバが多いことを想定して直結仕掛けを用意



取込みの作法

ちなみに、現在では直結仕掛けでも巻き続けて誘うのではなく、タナで止め、さわりを取り、合わせ、巻くことで掛けて行く釣法が主流だ。わずかでも竿先にシグナルが出たら合わせ、ハンドルで巻き上げる。竿先にイカの重さが伝わってくれば……電動巻き上げのスイッチを入れ、しっかりとイカを掛け、追い乗りを狙う。右手でハンドルを巻きながら、左手でNEW タッチドライブを操作できるフォースマスター1000を使い、流れるような動作で釣る鈴木さん。「目で見て合わせて巻き上げる。直結仕掛けではなおさら、流れるように操作できる道具が理想です」鈴木さんは手のひらを広げるようにしてフォースマスター1000を乗せ、親指を動かしながら言う。「イカスペシャルM170のXシートエクストリームガングリップと組み合わせると、下から支えるようにパーミングするので親指が自由に動かせます。これは疲れないのと同時に、NEW タッチドライブや、スピードクラッチのON、OFFやサミングなど、操作が快適に、こまかく行えます」

雨の中、イカの乗りは上向くことなく、1杯ずつの拾い釣りは続く。「イカスペシャルM170は、驚くほどの目感でシグナルを伝えてくれます。ほら、見えたでしょ？ こうやって合わせて掛けて、ハラハラしながら巻き

上げていくのも楽しいですよ」そして取込みでは基本をおろそかにすることなく、1本ずつ、ツノを確実にたぐって行く。「イカ釣りも道具もどんどん進化していますが、基本は変わりません。ぜひ、みなさんも難しく考えずに、楽しんでみてください」

食べて完結、をモットーとする鈴木さんはスルメイカをビニール袋に2、3杯ずついいいにしまいいながら、港に戻るのだった。

【イカスペシャルM170】◎軽量UDグラス素材を特殊設計したチューブラー穂先は軽く、抜群の目感を実現。乗りの手感度も向上させている。スパイラルXコア、ハイパワーX構造を採用したブランクスはブレることなく、オモリ150号でのジャクリも快適。かつ、多点掛けにも負けないパワーを持つ。Xシートエクストリームガングリップ搭載。M170、MH160、H155の3タイプ。
●M170=全長1.70m、継数2、仕舞寸法96.4cm、自重220g、先径2.1mm、オモリ負荷60~150号、カーボン含有率97.6%。



▶疲労を軽減させるXシートエクストリームガングリップ